

第330回 日本体育大学長距離競技会

【出場結果】

実施日 : 6月13日(土) 10000m

6月14日(日) 5000m

会場 : 日本体育大学健志台陸上競技場

出場者 : 加藤 平 救仁郷 弓揮

出場種目・出場者・リザルト

氏名	救仁郷	加藤
種目	10000m	5000m
組	1組目	6組目
タイム	29'33"79	14'24"59 (シーズンベスト)
順位	1/18	1/30

【レポート】

6月に入り、本格的な梅雨のシーズンとなりましたが、今年は梅雨の晴れ間のような強烈な暑さを感じる日が少なく、ランナーにとっては比較的走りやすいコンディションが続いています。

今回は加藤と救仁郷の2名が、日本体育大学長距離競技会に出場しましたが、例年のような蒸し暑さを感じることもなく、この時期としては比較的良い条件でレースに臨むことが出来ました。

初日に行われた10000mには救仁郷が出場し、事前に暑さが予想されていたこともあり、出場者が少なく、日体大記録会としては珍しく1組のみでレースが行われました。

ペースは序盤から2分55秒/kmを切るペースを刻み、救仁郷もしっかりと先頭集団に食らいつくと、28分台を狙うペースでレースは進みました。

5000mを14分40秒台で通過したあたりからペースが鈍りだし、救仁郷も先頭集団でレースを進めるものの、記録を狙うにはやや難しい展開に。

それでも救仁郷は最後まで集団の中で力を蓄えながら走ると、ラスト1周から鋭いスパートを見せ、組1位となる29分33秒台でのゴールとなりました。

ShinDengen /



今季4度目の10000m！常に結果を出し続ける救仁郷

翌日の5000mには、加藤が出場しました。

6組目に出場した加藤は、今季初戦となった前回のレースに続いて、落ち着いた走りを見せませんが、先頭集団のペースが自重気味となり3000mを8分42秒台で通過するスローな展開に。

自己ベスト更新を狙うには厳しい展開となりましたが、先頭集団の前方でスパートのタイミングを見計らい、ラスト1周の鐘を聞くと一気にペースアップし、ラスト200mでは独走状態に。

そのまま組1位でゴールし、14分24秒台と僅かながらに前回の記録を更新する走りを見せられました。



冷静かつ大胆な走りを見せた加藤

【総 評】

今回のレースに臨んだ加藤、救仁郷ともに組1位となり、自己記録更新こそならずとも、安定感と強さのある走りを見せてくれ、若手とベテランがしっかりと結果を出してくれることで、チームには非常によい流れを運んでくれております。

次戦の男鹿駅伝ではチームの総合力が試されますが、チーム一丸となってレースに挑みますので、引き続き皆さまの温かいご声援をよろしくお願いいたします。